



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 紀陽銀行
コード番号 8370 URL <https://www.kiyobank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 原口 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 (氏名) 丸岡 範夫 TEL 073-426-7133

配当支払開始予定日 —

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	23,707	20.3	5,138	6.5	3,711	17.3
2024年3月期第1四半期	19,702	△13.2	4,823	△28.1	3,163	△35.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △3,466百万円(－%) 2024年3月期第1四半期 3,883百万円(－%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	56	69	56	65
2024年3月期第1四半期	48	47	48	44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,925,804	232,251	3.9
2024年3月期	5,831,379	238,113	4.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 231,211百万円 2024年3月期 237,070百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	—
2025年3月期	—	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	43,200	7.1	10,200	6.6	7,000	7.1	106	82
通期	85,600	1.0	21,100	4.8	14,500	△3.5	221	27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期 1 Q	67,300,000株	2024年3月期	67,300,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期 1 Q	2,165,175株	2024年3月期	1,769,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期 1 Q	65,470,199株	2024年3月期 1 Q	65,261,888株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

※2025年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、預金等利息が増加したものの、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことなどにより、資金利益は増加しました。また、役務取引等利益や株式等関係損益は増加し、国債等債券損益の減少などによりその他業務利益は減少しました。

以上などにより、経常収益は前年同期比40億5百万円増加の237億7百万円、経常費用は前年同期比36億89百万円増加の185億68百万円、経常利益は前年同期比3億15百万円増加の51億38百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比5億48百万円増加の37億11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が5兆9,258億円、純資産が2,322億円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出等が増加したことなどから、前連結会計年度末比1,243億円増加の3兆9,567億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、前連結会計年度末比945億円増加の4兆7,792億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における実績が業績予想に対して順調に推移しているため、2024年5月13日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金預け金	983,679	986,401
買入金銭債権	0	0
金銭の信託	8,872	8,675
有価証券	882,430	839,077
貸出金	3,832,494	3,956,798
外国為替	3,317	3,889
その他資産	65,489	71,942
有形固定資産	34,362	34,807
無形固定資産	4,522	4,439
退職給付に係る資産	31,058	31,247
繰延税金資産	4,394	6,918
支払承諾見返	6,987	7,549
貸倒引当金	△26,231	△25,944
資産の部合計	5,831,379	5,925,804
負債の部		
預金	4,625,354	4,712,601
譲渡性預金	59,328	66,634
売現先勘定	4,309	4,614
債券貸借取引受入担保金	52,724	98,947
借入金	803,279	763,178
外国為替	213	304
その他負債	40,213	38,894
退職給付に係る負債	26	24
睡眠預金払戻損失引当金	226	203
偶発損失引当金	384	379
繰延税金負債	217	220
支払承諾	6,987	7,549
負債の部合計	5,593,266	5,693,553
純資産の部		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	2,495	2,495
利益剰余金	162,918	164,987
自己株式	△2,630	△3,382
株主資本合計	242,879	244,196
その他有価証券評価差額金	△13,406	△20,345
繰延ヘッジ損益	306	270
退職給付に係る調整累計額	7,290	7,089
その他の包括利益累計額合計	△5,808	△12,984
新株予約権	78	78
非支配株主持分	964	961
純資産の部合計	238,113	232,251
負債及び純資産の部合計	5,831,379	5,925,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	19,702	23,707
資金運用収益	11,488	13,850
(うち貸出金利息)	8,906	9,759
(うち有価証券利息配当金)	2,291	3,555
役務取引等収益	4,383	4,655
その他業務収益	2,197	2,912
その他経常収益	1,634	2,288
経常費用	14,879	18,568
資金調達費用	1,272	1,650
(うち預金利息)	24	179
役務取引等費用	1,329	1,403
その他業務費用	2,770	5,948
営業経費	8,296	8,776
その他経常費用	1,210	789
経常利益	4,823	5,138
特別利益	14	—
固定資産処分益	14	—
特別損失	49	55
固定資産処分損	49	8
減損損失	—	46
税金等調整前四半期純利益	4,788	5,083
法人税、住民税及び事業税	418	635
法人税等調整額	1,199	735
法人税等合計	1,617	1,371
四半期純利益	3,170	3,712
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,163	3,711

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,170	3,712
その他の包括利益	713	△7,178
その他有価証券評価差額金	839	△6,941
繰延ヘッジ損益	110	△36
退職給付に係る調整額	△236	△201
四半期包括利益	3,883	△3,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,876	△3,464
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定については、当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合 計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行業				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	17,274	2,427	19,702	—	19,702
セグメント間の内部 経常収益	85	466	551	△551	—
計	17,360	2,893	20,254	△551	19,702
セグメント利益	4,509	301	4,811	11	4,823

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業務、職業紹介業務、信用保証業務、リース業務、ベンチャーキャピタル業務、投資業務、クレジットカード業務、プログラム作成・販売、計算受託業務を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合 計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行業				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	21,186	2,521	23,707	—	23,707
セグメント間の内部 経常収益	98	610	709	△709	—
計	21,285	3,131	24,416	△709	23,707
セグメント利益	4,799	352	5,152	△13	5,138

- (注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業務、職業紹介業務、信用保証業務、リース業務、投資業務、クレジットカード業務、プログラム作成・販売、計算受託業務を含んでおります。
 3 セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。
 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業」セグメントにおいて、一部の固定資産について、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額に満たないことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、46百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	692百万円	761百万円

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

【目次】

1. 損益の状況(単体)	P 1
2. 預金等、貸出金の残高(単体)	P 2
3. 預かり資産残高(単体)	P 2
4. 自己資本比率(連結)(単体)	P 2
5. 時価のある有価証券の評価差額(単体)	P 3
6. 金融再生法開示債権(単体)	P 3

(注) 1. 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株式会社 紀陽銀行

1. 損益の状況

- 当第1四半期の経営成績につきましては、本業での収益である貸出金利息や役務取引等利益が増加したものの、国債等債券損益が減少したことなどから、業務粗利益が前年同期比1億円減少の114億円となりました。経常利益は株式等関係損益が増加したことなどから前年同期比2億円増加の47億円、四半期純利益は前年同期比5億円増加の35億円となりました。
- 「銀行の本業で稼ぐ力」を示す重要な指標と位置付けている顧客向けサービス業務利益は、貸出金が増加したことや、役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比3億円増加の37億円となり、堅調に推移しました。

(単位：百万円)

(単体)	2025年3月期 第1四半期	前年同期比	2024年3月期 第1四半期
	1 経常収益	21,285	3,925
2 業務粗利益	11,493	△ 159	11,652
3 資金利益	12,211	1,989	10,222
4 うち貸出金利息	9,768	858	8,910
5 うち有価証券利息配当金	3,558	1,265	2,293
6 うち投資信託解約損益	739	628	111
7 うち預金等利息(△)	183	159	24
8 役務取引等利益	2,468	215	2,253
9 その他業務利益	△ 3,186	△ 2,364	△ 822
10 うち国債等債券損益	△ 3,593	△ 2,789	△ 804
11 経費(除く臨時処理分)(△)	8,534	515	8,019
12 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,959	△ 673	3,632
13 うちコア業務純益	6,552	2,115	4,437
14 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,812	1,486	4,326
15 一般貸倒引当金繰入額①(△)	114	685	△ 571
16 業務純益	2,844	△ 1,360	4,204
17 臨時損益	1,954	1,650	304
18 不良債権処理額②(△)	197	△ 1,094	1,291
19 (与信費用①+②)(△)	(312)	(△ 408)	(720)
20 うち貸出金償却(△)	235	△ 100	335
21 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	△ 108	△ 986	878
22 償却債権取立益	59	△ 310	369
23 株式等関係損益	1,217	831	386
24 その他臨時損益	874	35	839
25 経常利益	4,798	290	4,508
26 特別損益	△ 50	△ 15	△ 35
27 税引前四半期純利益	4,747	274	4,473
28 法人税等合計(△)	1,224	△ 279	1,503
29 法人税、住民税及び事業税(△)	524	221	303
30 法人税等調整額(△)	699	△ 500	1,199
31 四半期純利益	3,523	553	2,970
32 与信コスト総額(△)	247	△ 103	350
33 顧客向けサービス業務利益	3,797	379	3,418

(注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。

2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. 顧客向けサービス業務利益は、以下の通りです。

顧客向けサービス業務利益＝貸出金平残×預貸金利回差＋役務取引等利益－営業経費

4. (△)は損失項目です。

2. 預金等、貸出金の残高

(単位:百万円)

	(単体)	2024年6月末	2024年3月末		2023年6月末
			2024年3月末比	2023年6月末比	
1	預金・譲渡性預金(期末残高)	4,800,954	95,239	73,708	4,705,715
2	うち預金	4,724,319	87,933	70,313	4,636,386
3	うち個人預金	3,221,412	35,006	27,877	3,186,406
4	貸出金(期末残高)	3,978,054	126,715	315,933	3,851,339
5	うち消費者ローン	1,257,672	14,241	58,448	1,243,431
6	うち住宅ローン	1,022,216	11,085	39,971	982,245
7	中小企業等貸出金(期末残高)	3,010,144	90,854	266,988	2,919,290

3. 預かり資産残高

(単位:百万円)

	(単体)	2024年6月末	2024年3月末		2023年6月末
			2024年3月末比	2023年6月末比	
1	預かり資産残高(期末残高)	190,102	13,333	32,823	176,769
2	投資信託	185,877	13,226	32,296	172,651
3	国債等	4,225	107	528	4,118

4. 自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

	(連結)	2024年6月末	2024年3月末	
			2024年3月末比	2024年3月末
1	自己資本比率(2÷5)	12.61%	△ 0.16%	12.77%
2	自己資本(3-4)	229,621	2,477	227,144
3	コア資本に係る基礎項目	254,477	2,562	251,915
4	コア資本に係る調整項目	24,856	85	24,771
5	リスク・アセット等	1,820,565	42,989	1,777,576
6	総所要自己資本額(5×4%)	72,822	1,719	71,103

(単位:百万円)

	(単体)	2024年6月末	2024年3月末	
			2024年3月末比	2024年3月末
1	自己資本比率(2÷5)	11.80%	△ 0.17%	11.97%
2	自己資本(3-4)	213,520	2,246	211,274
3	コア資本に係る基礎項目	231,277	2,681	228,596
4	コア資本に係る調整項目	17,757	435	17,322
5	リスク・アセット等	1,808,362	44,610	1,763,752
6	総所要自己資本額(5×4%)	72,334	1,784	70,550

5. 時価のある有価証券の評価差額

(単位:百万円)

(単体)	2024年6月末				2024年3月末		
	評価差額	2024年3月末比	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損
1 満期保有目的	△ 187	△ 187	—	187	△ 0	18	19
2 その他有価証券	△ 30,615	△ 10,061	14,810	45,425	△ 20,554	17,721	38,275
3 株式	12,334	△ 2,236	12,927	592	14,570	15,361	790
4 債券	△ 28,107	△ 9,979	187	28,294	△ 18,128	456	18,584
5 その他	△ 14,843	2,154	1,695	16,538	△ 16,997	1,903	18,900
6 合計	△ 30,802	△ 10,247	14,810	45,612	△ 20,555	17,740	38,295

(注) 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

6. 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

(単体)	2024年6月末	2024年3月末比		2024年3月末	2023年6月末
		2024年3月末比	2023年6月末比		
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	2,760	△ 11,685	△ 11,896	14,445	14,656
2 危険債権額	52,738	△ 801	△ 3,122	53,539	55,860
3 要管理債権額	9,396	304	△ 978	9,092	10,374
4 小計	64,896	△ 12,181	△ 15,995	77,077	80,891
5 (合計債権残高に占める比率)	(1.61%)	(△ 0.37%)	(△ 0.57%)	(1.98%)	(2.18%)
6 正常債権額	3,956,562	141,077	332,834	3,815,485	3,623,728
7 合計	4,021,458	128,895	316,839	3,892,563	3,704,619

以 上

2025年3月期 第1四半期決算について

2024年8月5日

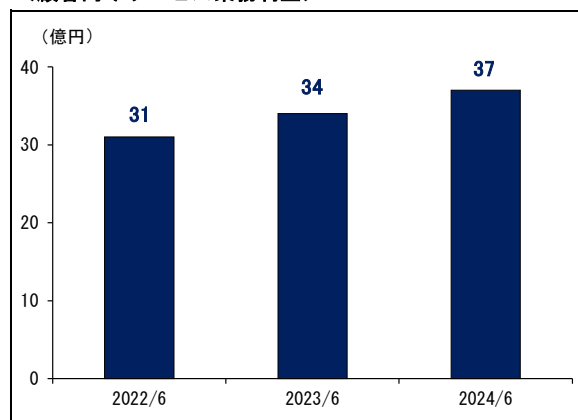
- 当第1四半期の経営成績につきましては、本業での収益である貸出金利息や役務取引等利益が増加したものの、国債等債券損益が減少したことなどから、業務粗利益が前年同期比1億円減少の114億円となりました。経常利益は株式等関係損益が増加したことなどから前年同期比2億円増加の47億円、四半期純利益は前年同期比5億円増加の35億円となりました。
- 「銀行の本業で稼ぐ力」を示す重要な指標と位置付けている顧客向けサービス業務利益は、貸出金が増加したことや、役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比3億円増加の37億円となり、堅調に推移しました。

＜業績概要（単体）＞

（単位：百万円）

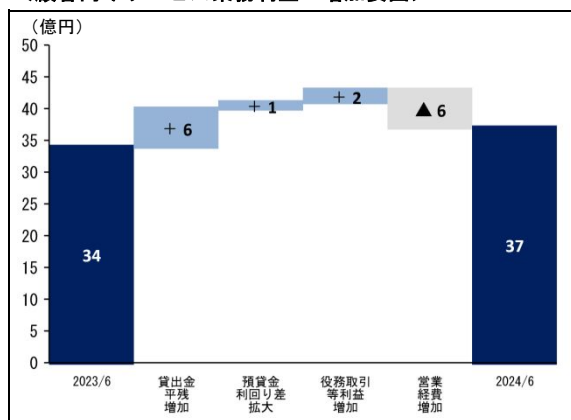
	2025年3月期	前年同期比	2024年3月期
	第1四半期		第1四半期
1 業務粗利益	11,493	△ 159	11,652
2 資金利益	12,211	1,989	10,222
3 うち貸出金利息	9,768	858	8,910
4 うち有価証券利息配当金	3,558	1,265	2,293
5 うち投資信託解約損益	739	628	111
6 うち預金等利息（△）	183	159	24
7 役務取引等利益	2,468	215	2,253
8 うち役務取引等収益	4,096	293	3,803
9 うち役務取引等費用（△）	1,628	78	1,550
10 その他業務利益	△ 3,186	△ 2,364	△ 822
11 うち国債等債券損益	△ 3,593	△ 2,789	△ 804
12 経費（△）	8,534	515	8,019
13 実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	2,959	△ 673	3,632
14 うちコア業務純益	6,552	2,115	4,437
15 うちコア業務純益（除く投資信託解約損益）	5,812	1,486	4,326
16 一般貸倒引当金繰入額（△）	114	685	△ 571
17 業務純益	2,844	△ 1,360	4,204
18 臨時損益	1,954	1,650	304
19 うち不良債権処理額（△）	197	△ 1,094	1,291
20 うち償却債権取立益	59	△ 310	369
21 うち株式等関係損益	1,217	831	386
22 経常利益	4,798	290	4,508
23 特別損益	△ 50	△ 15	△ 35
24 法人税等（△）	1,224	△ 279	1,503
25 四半期純利益	3,523	553	2,970
26 与信コスト総額（△）	247	△ 103	350
27 顧客向けサービス業務利益	3,797	379	3,418

＜顧客向けサービス業務利益＞



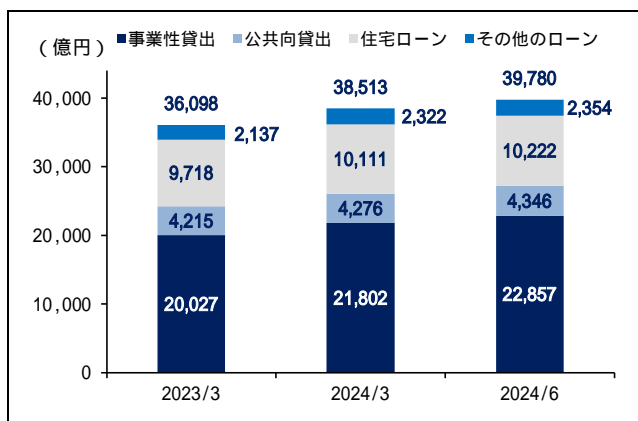
※顧客向けサービス業務利益
＝貸出金平残×預貸金利回差＋役務取引等利益－営業経費

＜顧客向けサービス業務利益 増加要因＞

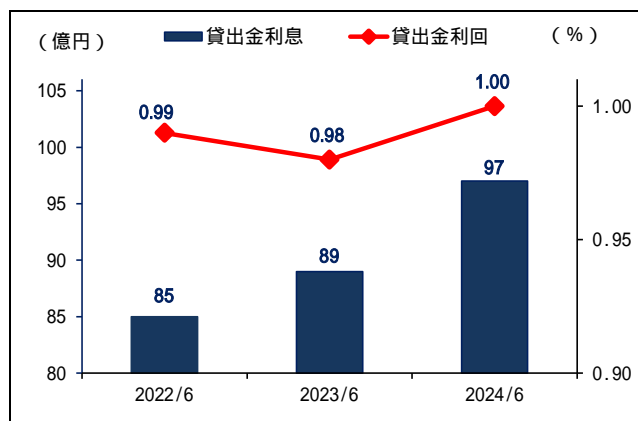


（注）業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

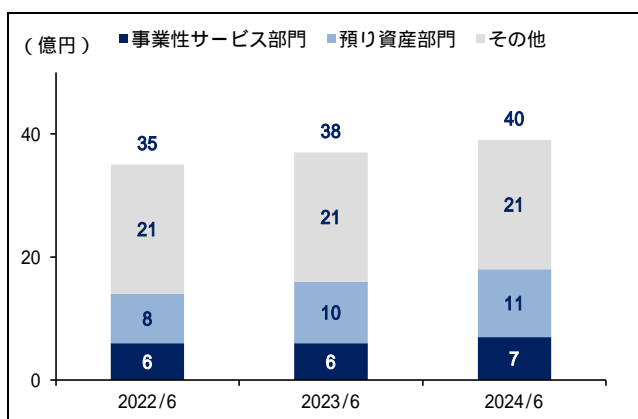
<貸出金残高>



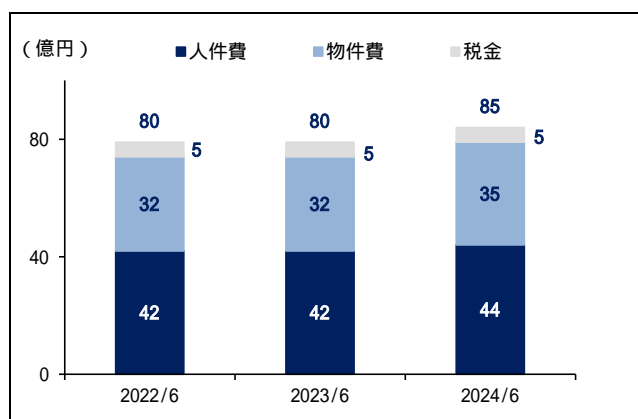
<貸出金利息・貸出金利回>



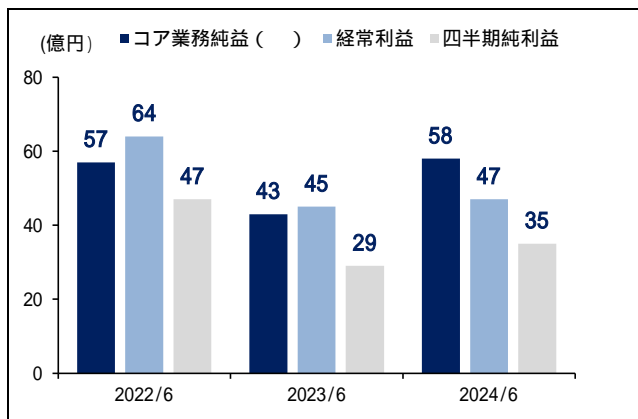
<役員取引等収益>



<経費>

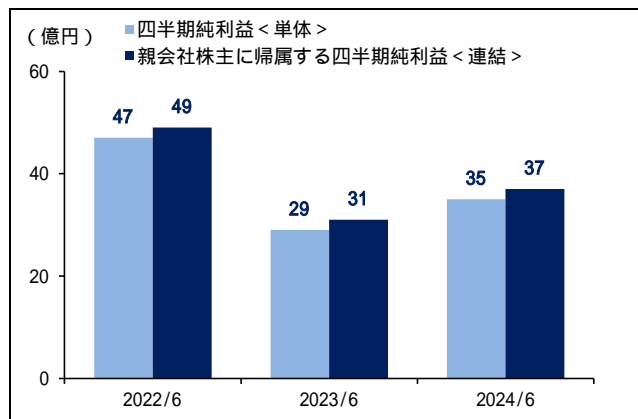


<コア業務純益・経常利益・四半期純利益>

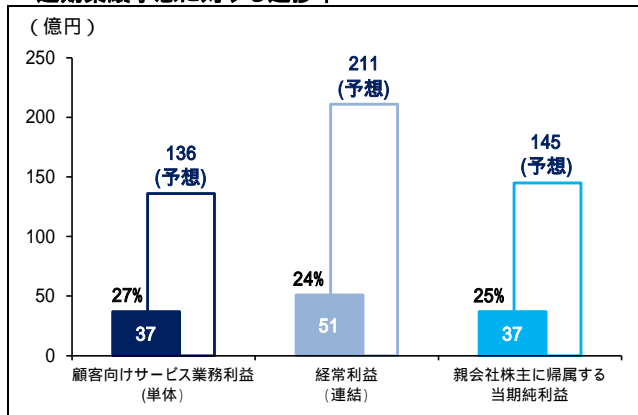


除く投資信託解約損益

<単体・連結最終利益>



<通期業績予想に対する進捗率>



<自己資本比率>

